

*****2007.10.14*****

CGL NEWS II Vol.21

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

『CGL NEWS II』は、第2期ロジスティクス環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信して参ります。

<目次>

- 1 11月20日開催 グリーンロジスティクス講習会のご案内
- 2 「地球温暖化対策に関する世論調査」結果を公表(内閣府)

<11月20日開催>

グリーンロジスティクス講習会のご案内(環境会議メンバー企業 参加無料)

ロジスティクス環境会議では、各研究会、委員会の活動のほかに、メンバーを対象としたイベントを開催しております。

今回は、2回目のイベントとして、「グリーンロジスティクス講習会」を開催いたします。

【参加のすすめ】

各企業におけるグリーンロジスティクスの更なる推進に向けては、ハード、ソフト両面で様々な対策が考えられますが、本講習会においては、「連携」、「開発」、「共同化」をグリーンロジスティクス推進のためのキーワードとして捉え、それぞれのキーワードに合致する先進事例をご紹介いただくことにより、ロジスティクス環境会議メンバー企業の環境負荷低減の一助としていただくことを目的として開催いたします。関係各位の積極的な参加をお待ちしております。

なお、本シンポジウムは、環境会議の登録者(代表登録者、研究会、委員会メンバー)以外の方でも参加可能です。関係者の方もお誘いあわせのうえ、奮ってご参加ください。

【日時】

2007年11月20日(火)14:00~17:00

【会場】

笹川記念会館 4F 第1、2会議室

郵便108-0073 東京都港区三田 3-12-12

TEL.03-3454-5062(代)

<http://www.sasakawahall.jp/loc.html>

【プログラム】

14:00～14:05

開 会

14:05～15:00

講演① <連携>

「連携(パートナーシップ)に着目したグリーン物流への取り組み」

明治乳業株式会社

物流部 係長

桜井 保 氏

15:05～16:00

講演② <開発>

「段積み用輸送・保管共用治具開発によるモーダルシフトの拡大と包装削減への取り組み」

株式会社日立産機システム

事業統括本部 生産革新センタ 生産改革グループ 主任技師(ロジスティクス担当)

吉川 謙二 氏

株式会社日立物流 グローバル営業開発本部 家電・産機システム部 主任

染谷 健一 氏

16:05～17:00

講演③ <共同化>

「グリーン物流で生き残れー東海北陸自動車道全線開通に向けての取り組み紹介ー」

若松梱包運輸倉庫株式会社

代表取締役専務

若松 道行 氏

17:00 閉 会

詳細は下記URLもしくは、添付開催案内をご参照下さい。

<http://www.logistics.or.jp/green/info/pdf/071120.pdf>

【参加対象】

製造業、流通業、物流企業及び関係団体等

【参加料金】

無料

【参加人数】

100名

* 定員になり次第、締め切らせていただきます。

* 1社から多数お申込をいただいている場合、人数調整をお願いする場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。

【参加申込方法】

※メールでのお申込※

<会社名><氏名><所属・役職><電話番号><Emailアドレス>を
必ず御記入の上、

件名『グリーンロジスティクス講習会 申込』として、

申込受付専用アドレス greenlogi@logistics.or.jp へメールにて御連絡くださ
い。折り返し参加者ご本人様へ確認のメールを送信させていただきます。

(返信のメールが参加証となります)

※FAXでのお申込※

添付の参加登録書にご記入のうえ、事務局宛にFAXにてご送信ください。

折り返し、ご記載いただきましたメールアドレスへ確認のメールを送信させていただきます。

(返信のメールが参加証となります)

【お問い合わせ先】

(社)日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス環境推進センター

小川、河野、栗原

03-5484-4021

■地球温暖化対策に関する世論調査 結果公表(内閣府)■

内閣府が、全国20歳以上の男女3,000人を対象に行った、「地球温暖化対策に関する世論調査」結果が、このたび公表されました。

本調査は、(1)地球温暖化問題への関心について、(2)家庭や職場で行う地球温暖化対策について、(3)環境税について、(4)サマータイム制度について—の4項目に関する意識・関心について調査されたものです。

この中に、「家庭や企業で使用される自動車からの二酸化炭素排出量削減のために、政府が推進すべきだと思う取り組み」を聞いたところ、「ハイブリッド自動車のような低燃費車をさらに普及させる」を挙げた者の割合が63.9%と最も高く、以下、

「使用時に二酸化炭素を全く排出しない燃料電池自動車を早期に実用化する」
(38.0%), 「燃費の良い車の税金は軽く, 燃費の悪い車の税金は重くする」
(35.5%)などの順となっております。(複数回答, 上位3項目)

詳細は下記内閣府ホームページをご参照下さい。

<http://www8.cao.go.jp/survey/h19/h19-globalwarming/2-2.html>

*****CGL NEWS II 配信について*****

■本メールは第2期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に
配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp

※各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスにお願いいたします。

(C)CGL NEWS All Rights Reserved.
